○当永（とうえい）発電所（上川郡当麻町）

施設のみどころ！

←水車に入る水量を自動調整するゲートが真上から見学できます。

→建屋内の水車と発電機。発電期間中は、稼働の様子を間近で見学できます。

（施設概要）

・当永発電所は、道内で初めて農業用水路の落差を活用した小水力発電施設で、平成30年より発電を開始しました。

・最大出力は139kW、年間発電量は707MWh（令和4年度実績）で、これは一般家庭約240世帯分の消費電力に相当します。

（見学箇所）
- ・ゲート部
- ・建屋内（水車、発電機）

（見学時間）
- ・30分（最短）～60分(最長)

（見学目安人数）
- ・１枠あたり10人/班×２回

＊最大20人
（ただし、見学内容･時間は要調整）

（施設までのアクセス）
- ・旭川駅より車で約40分

○大雪頭首工（たいせつとうしゅこう）（上川郡愛別町）

（施設概要）

・大雪頭首工は、石狩川上流部に位置し、下流の旭川市や当麻町で使われる農業用水を取水しています。

・この頭首工は、約90mの可動堰を有する道内でも有数な農業水利施設として活躍しています。

（見学箇所）
- ・管理橋

（見学時間）
- ・20分（最短）～30分(最長)

（見学目安人数）
- ・１枠あたり10人/班×２回

＊最大20人
（ただし、見学内容･時間は要調整）

（施設までのアクセス）
- ・旭川駅より車で約45分

○当永発電所及び大雪頭首工（上川郡当麻町）

【駐車場・その他施設】

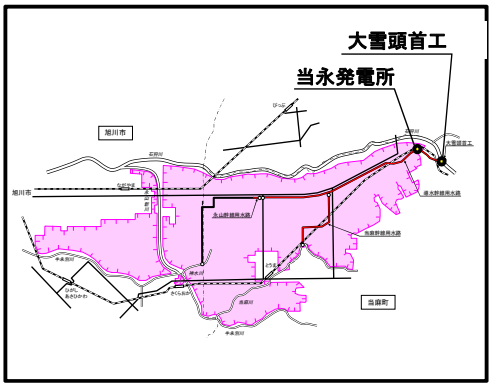
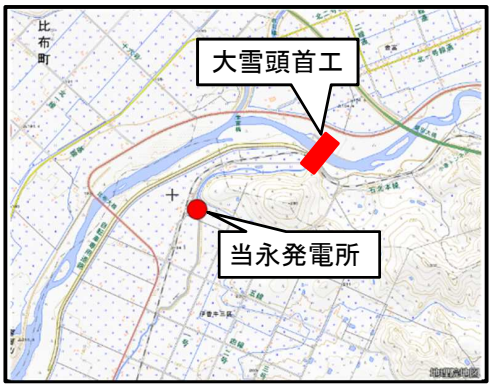
・駐車場：発電所敷地内に３台程度、大雪頭首工敷地内に２台程度駐車可能（大型バスは駐車不可）
・トイレ：なし
・エレベーター：なし
・ゲート上部までの階段数は約２０段

【観光情報ほか】

・当麻町は水稲の他野菜の栽培も盛んであり、中でも「でんすけすいか」は、贈答用として全国的に人気があります。
・発電所から車で約５分、用水路上流へ移動すると、石狩川に位置する「大雪頭首工」があり、発電所と合わせて本地区の農業水利施設を見学することが出来ます。

【注意事項】

・当永発電所に隣接する用水路への転落に十分ご注意ください。
・発電所敷地内は道幅が狭く、大型バス等は通行できません。
・発電期間は４月から１１月です。期間外には発電の様子をご覧いただけません。

・大雪頭首工は管理橋からの転落に十分ご注意下さい。

【位置図】